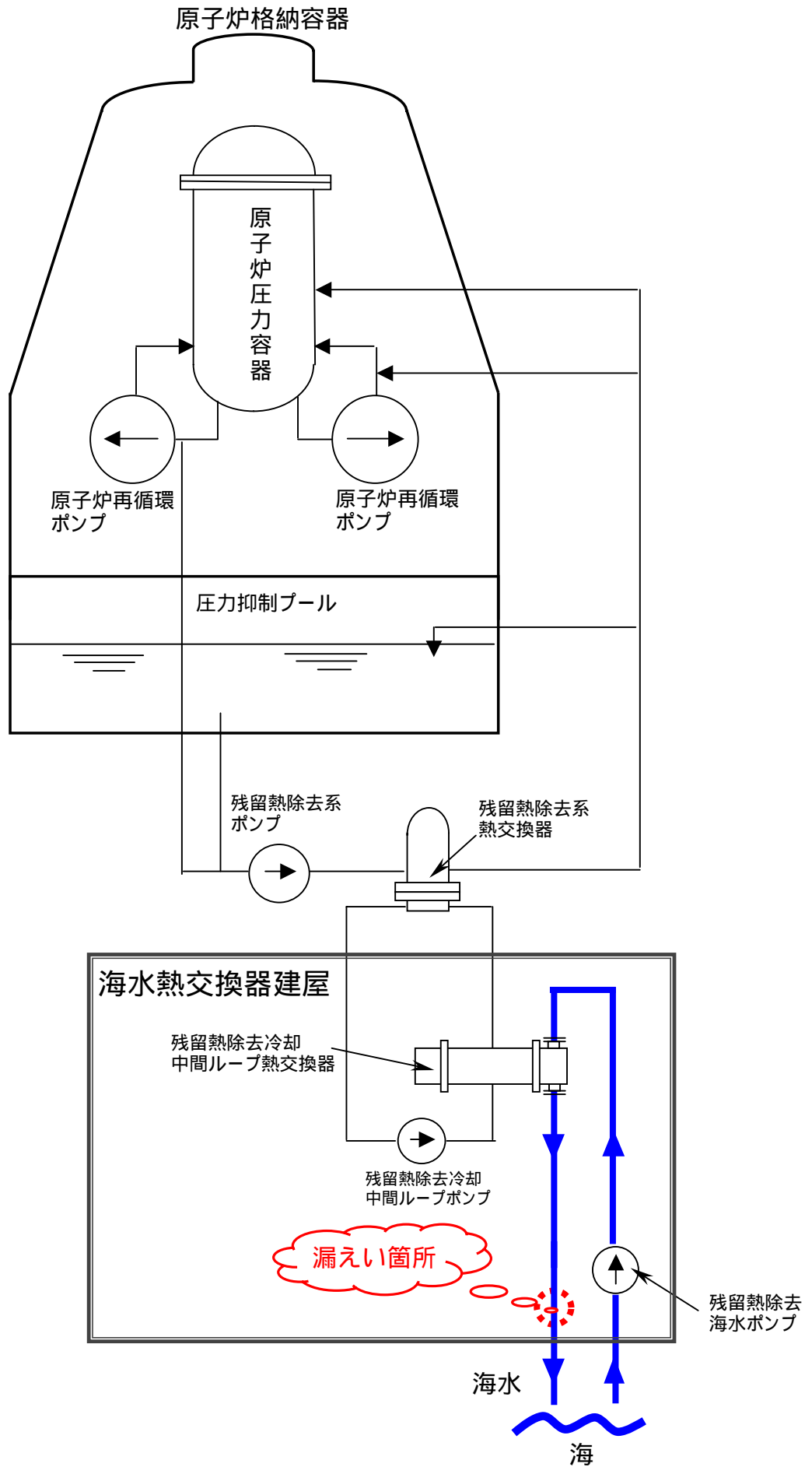


区分：

場所	1号機海水熱交換器建屋（非管理区域）	
件名	残留熱除去海水系配管からの海水の漏えいについて	
不適合の概要	<p>（事象の発生状況） 定期検査中の1号機において、平成21年10月17日午前9時41分頃、海水熱交換器^{*1}建屋（非管理区域）1階の残留熱除去海水系配管^{*2}から海水が7～8秒に1滴程度、床に滴下していることを、付近で作業をしていた協力企業作業員が確認しました。 このため、漏えい箇所の調査を開始するとともに、午後4時50分頃、当該配管へ海水を流している残留熱除去系海水ポンプを停止し、漏えいは停止しました。 その後、当該配管の周辺を覆っている保温材を取り外して漏えい箇所の調査をおこなったところ、10月18日午前10時頃、配管表面に直径約2mm程度の孔を確認しました。</p> <p>（安全性、外部への影響） 漏えいした海水は放射性物質を含んでおらず、本事象による外部への放射能の影響はありません。</p> <p>* 1 海水熱交換器 原子炉建屋やタービン建屋等で使用する機器の冷却水を、海水で熱交換し冷やすための機器。</p> <p>* 2 残留熱除去海水系配管 残留熱除去系等で発生した熱を冷却するため、熱交換器に冷却用の海水を供給する系統。今回は、熱交換器を冷却した後に、温まった海水を放水口から海へ戻すための配管部分で漏えいが確認された。</p>	
安全上の重要度 / 損傷の程度	<安全上の重要度> 安全上重要な機器等 / その他設備	<損傷の程度> 法令報告要 法令報告不要 調査・検討中
対応状況	今後、当該配管の応急処置を行うとともに、原因調査を実施して配管の修理を行います。	



1号機 残留熱除去海水系 系統概要図

1号機海水熱交換器建屋（非管理区域） 残留熱除去海水系配管からの海水漏えい箇所

